

低気圧に伴う降雨による防災情報（第3報）

新庄河川事務所では、最上川中流の大石田水位観測所において、水防団待機水位を超えたため、7月23日1時00分に災害対策支部（注意体制：河川）を設置しました。

1. 新庄河川事務所の体制

7月22日（月） 16時00分 災害対策支部「警戒体制・砂防」設置

7月23日（火） 1時00分 災害対策支部「注意体制・河川」設置

※災害対策支部（砂防）設置基準

注意体制：連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制：連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害の恐れがある場合

2. 雨量情報（7月23日 1時00分現在）

[立谷沢川流域]

月山雨量観測所 連続雨量 102mm（降雨継続中）

[寒河江川流域]

大井沢雨量観測所 連続雨量 121mm（降雨継続中）

7月22日 18時00分 時間雨量45mm

[赤川流域]

枅形雨量観測所 連続雨量 128mm（降雨継続中）

3. 河川情報（最上川中流 7月23日0時50分）

河川名	観測所名	現在の 水位	状況	水防団待機 水位 (レベル1)	氾濫注意 水位 (警戒水位) (レベル2)	避難判断 水位 (レベル3)	氾濫危険 水位 (危険水位) (レベル4)
最上川中流	大石田	13.34m	上昇中↑	12.50m	13.80m	16.40m	16.90m

4. 今後の見通し

引き続き河川の水位が上昇する恐れがありますので、今後の気象情報にご注意願います。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

電話 0233-22-0262

調査課長 荒澤 慎一（内線351）